

## 【工夫のポイント】

- 区画拡大と合わせて耕作道や作業道を整備。防除作業の機械化により、飛躍的に**農作業が効率化**。
- 事業実施時に既存ミカン樹を**堆肥化し、造成後の農地に還元**。
- 事業完了後、多数の若手後継者が成長。H28年度から、**若手後継者を中心に、隣接地で新たな基盤整備事業に着手**。

## 基盤

## 農地の大区画化と営農作業の効率化

- 農地の集団化や区画拡大、耕作道や作業道の整備により、防除作業時のスピードプレーヤ及び農作物搬出のための動力運搬機が利用可能となり、**労働時間を大幅に削減**。
- 事業実施時に既存ミカン樹の処分が大きな課題となったが、**堆肥化の上、造成後の農地に還元**。



## 基盤整備

(H14年～H18年)

## 【整備前】

ほ場区画は、**平均14.4aと極小かつ点在している**。  
耕作道や樹園地内の作業道もないため機械化できず、営農に**多大な労力が必要**。



## 【取組地域の概要】

○位置 うきし みすみまち  
熊本県宇城市三角町



- 主要作物  
・柑橘(温州ミカン、デコポン)
- 主な支援施策  
・県営畑地帯総合整備事業(H14～H18)

## 加工・流通

## 収益拡大のチャンス

- 事業を契機に、温州ミカン中心からデコポンなどの晩柑を併せて生産。集中していた**収穫時期が分散**され、**ゆとりのある作業が可能**に。
- 主にJA熊本うきへ出荷され、一定の糖度以上のミカンやデコポンは、プライベートブランド化し全国に出荷。
- 果樹生産による販売金額は**事業前の6.3倍**に大幅アップ。

■労働時間  
(大口地区) (時間/10a)



■果樹生産額  
(大口地区)



## 繋がる人 活気づく地域

- 県内外から視察を受け入れ、栽培技術を学ぶ学生や収穫を楽しむ子供など、繋がりが多い。
- 宇城市が、離農減少対策と併せ、若手農家をイノシシ等の鳥獣害対策実施者として育成する『くまもと☆農家ハンター』の取組を実施。



## 地域の取組

## 基盤整備がもたらした波及効果

- **大口地区の成功を受け、後継者の強い希望により、H28年度から隣接する大口西部地区の荒廃農地整備を実施**。
- 整備後の農地約8割が大口地区の担い手に集積される計画で、**更なる収益増が期待**。



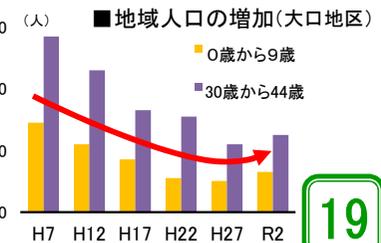
■収益拡大の見込  
(大口西部地区)



■土地利用率の見込  
(大口西部地区)



- 事業がもたらした効果は若手農家に大きな刺激を与え、後継者が多く育っている。その勢いは留まらず、**地域の親や子ども世代の数が増加に転じるほど**。



## 【工夫のポイント】

- 基盤整備により、荒廃化が進む樹園地を**レモン団地に整備**。
- **スピードスプレーヤや運搬車両の園内作業道を確保することで省力化を実現**。
- **香料製造企業が農業参入し、レモンの果汁・精油を国内外へ販売**。
- **菓子製造販売企業が農業参入し、市内でドライフルーツ用レモンの生産を開始**するなど、周辺地域へ波及。

## 【取組地域の概要】

○位置 さいきし  
大分県佐伯市

大分県



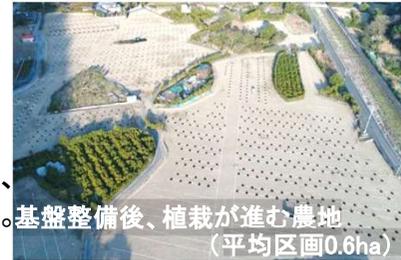
○主要作物  
・レモン

○主な支援施策  
・農地中間管理機構関連  
農地整備事業 (R1~R4)

## 園芸産地の拡大に向けた大区画化・水路のパイプライン化

### 基盤整備

- 区画整理により最大区画1.9haの農地へ**大区画化**。
- **農業用水路のパイプライン化**により、用水の安定供給と、**水管理作業の省力化を実現**。
- **獣害防止柵の設置**により獣害被害を防止。



基盤整備後、植栽が進む農地 (平均区画0.6ha)



植栽状況 (R3)

収穫状況 (R5)

## 【整備前】

農地は狭小で、大型機械の利用が困難。また、**シカによる獣害被害などが要因となり、耕作放棄地の増加**が進行。



整備前の農地 (平均区画0.1ha)

基盤整備  
(R1年~R4年)

## 大区画化により省力化・作業効率の向上を実現

### 生産現場

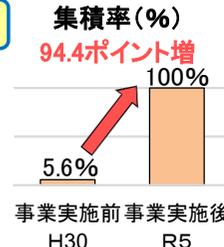
- 農地の大区画化により、園内作業道スペースの確保が可能となり、**スピードスプレーヤや運搬車両の利用による、省力化・作業効率の向上を実現**。



## 農地バンクの活用により集積率が大幅アップ

### 担い手

- 国内外で事業を展開する**香料製造企業が担い手として農業参入**。
- 農地バンクを活用し、担い手への農地集積率を大幅に向上。地区内農地の**100%を担い手に集積**。



## 参入企業による生産・加工・流通

### 加工流通

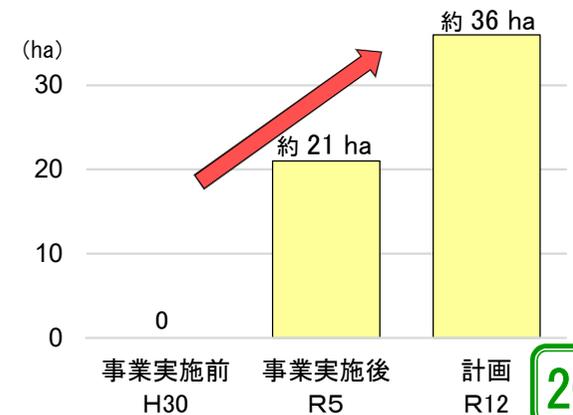
- 生産したレモンは、青果での販売、及び搾汁・搾油し、**果汁・精油として国内外に販売**。



## 園芸産地の拡大

- 本地区への香料製造企業の農業参入に続き、**菓子製造販売企業がドライフルーツ用レモン生産のため、佐伯市内において農業参入**。
- 香料製造企業は、**更なる経営規模拡大を計画しており、今後も生産面積の拡大**が見込まれる。

地域における参入企業のレモン栽培面積 (ha)



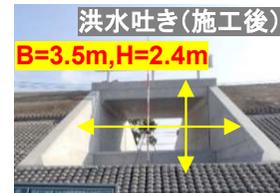
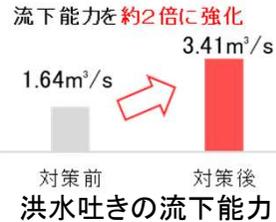
## 【対策のポイント】

- 大迫池は下流に農地や住宅があり、災害時に緊急輸送道路となる県道等に隣接。**洪水吐きの断面不足や堤体の漏水が確認され、堤体決壊により甚大な被害が発生するおそれ。**
- このため、**堤体の補強や洪水吐きの流下能力向上など、ため池を全面的に整備。**
- **整備により災害を未然に防止し、地域住民の安全・安心な暮らしを確保。**

## 基盤

### ため池の補強・改修工事

- **洪水吐きの断面を拡張するとともに、堤体の断面補強、漏水対策、浸食防止を実施。**
- **併せて、取水施設の更新整備も実施。**



## ため池の補強・改修工事

### 【整備前】

大迫池は**洪水吐きの断面が狭小であり、堤体からは漏水も発生。**さらに、取水施設も老朽化。



### 全景写真(整備前)



## 【取組地域の概要】

- 位置 みやざきし 宮崎県宮崎市

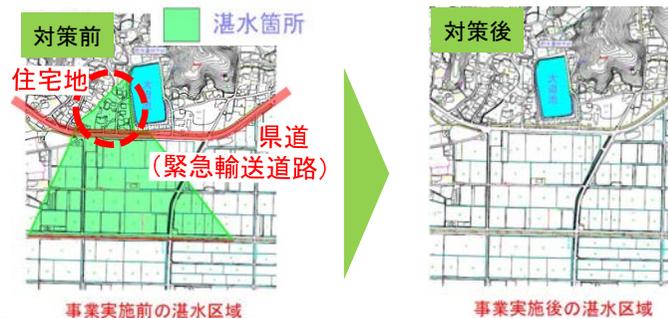


- 実施事業  
・農村地域防災減災事業 (H29～R5)  
うち5か年加速化対策 (R3～R5)

## 堤体の決壊を防止し、下流の被害を回避

- 従前では、堤体決壊により周辺地域に被害を及ぼすおそれがあったが、対策により、**堤体決壊リスクを軽減。**

### 湛水シミュレーション図(1/10確率)



## 対策の効果

	想定被害額	想定住宅被害
対策なし (堤体が決壊した場合)	4.4億円	11戸 (床上浸水)
対策あり	被害なし	被害なし

- **下流にある農地、住宅、県道(緊急輸送道路)等への災害を未然に防止し、地域住民の安全・安心な暮らしを確保。**

### 全景写真(整備後)



- 堤体や洪水吐きなどの工事が完了していたため、**令和4年9月台風14号においても被害は無し。**